

賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6 明許） 特記仕様書

1 事業の目的

近年個体数の急激な増加に伴い、深刻化の一途をたどるニホンジカ（以下、シカ）による森林被害対策は喫緊の課題であり、シカ被害に歯止めをかけるため、国として令和10年までにシカ個体数の半減を目標に掲げている。

森林においては、シカによる造林木への食害や剥皮等の被害、植栽木が食害されることにより伐採後の更新が困難な森林が発生し、森林施業に支障をきたし、林業が成り立たなくなる。また、下層植生の消失により、土砂流出や崩壊が発生し国土保全上重大な問題となる。

このため、当管内の国有林においてシカ捕獲を実施することで、適正な密度に導いていくことにより、森林の多面的機能が持続的に発揮され、維持保全していくことを目的としている。

2 捕獲対象鳥獣及び捕獲目標頭数

ニホンジカ 120 頭（頭数はあくまで目安であり、制限するものではない）

3 事業区域

静岡県賀茂郡河津町 佐賀野国有林 6 6 8 林班外 1,239.10ha（別紙位置図参照）

4 事業内容

本事業は、共通仕様書に定めるもののほか、以下の(1)から(6)により実施するので、監督職員と委託事業開始時及び報告書作成時に打合せ等を行うこと。

(1) 計画準備

ア 事業計画書の作成

共通仕様書 1.10 の事業計画書の作成は、事業全体の推進・調整を図るため、監督職員と打合せを行うとともに、必要に応じて野生鳥獣被害対策に係る関係行政機関等と打合せ及び調整を行い、関係者の意見を踏まえながら、事業計画書（別紙様式 1 から別紙様式 4）を作成すること。

イ 有害鳥獣捕獲許可の申請等

本事業を実施するための鳥獣捕獲等許可等申請は、受託者が必要な書類を作成のうえ該当市町長に申請し、捕獲作業実施までに許可を得ること。

(2) 捕獲方法

ア 実施期間及び作業日数

捕獲前の 30 日間（2 日に 1 回（15 回））給餌を行い、効率よく捕獲ができる箇所を選定し、令和 7 年 11 月 1 日から令和 8 年 1 月 20 日の間において、足くくりわなによる捕獲作業を 50 日間実施する（捕獲・見回り・給餌による誘引作業・検体・メンテナンス・埋設含む）。

捕獲作業は令和 8 年 1 月 20 日（火）までに完了すること。

イ 実施時間

原則として日の出から日の入りまでとすること。

ウ 実施箇所

事業区域において、事前に安全性を確認した林道沿い、シカ道等を選定するものとする。

エ 誘引・捕獲作業

シカ道等シカが捕獲しやすい箇所に 1 日当たり稼働させる足くくりわな 50 基を設置する。なお、他の鳥獣の錯誤捕獲を防止するため、わなの設置箇所については十分に精査し実施すること。わな稼働時の見回りは、毎日行うこと。止めさしについては、安全上を考慮し適正に実施すること。

（参考）足くくりわな設置にかかる留意点

- ・わなは捕獲対象鳥獣から見えないように周囲の状況に同化させること。
- ・わな金属臭等のおいが出ないように工夫すること。
- ・捕獲対象鳥獣の行動が障害物等で制限される場所にわなを設置すること。
- ・可能な限りわなへの接近方向を一方向にすること。
- ・わなの臭いより餌や醤油等の強い臭いをわなの近くに置くこと。

オ わなの仕様

品名	規格	数量	納品等	事業終了後の返却場所
足くくりわな	渡部式 R 型	50 基	委託者が貸与し、事業終了後、委託者に整備し返納	伊豆森林管理署 （伊豆市牧之郷 546-5）

カ 誘引資材の仕様

品名	規格	数量	納品等	事業終了後の返却場所
誘引資材	ヘイキューブ 30kg／袋	35 袋	受託者が購入	—

キ 捕獲実施体制

1日当たりの捕獲体制は、2名体制とし、車両は1台を基本として実施する。
(捕獲・見回り・給餌による誘引作業・検体・メンテナンス・回収埋設含む)

ク 林道等の移動距離

キに示す捕獲体制における1日当たりの車両による林道等の移動距離は、次のとおりとする。

(わなによる捕獲等の場合) 見回り・回収車両 35.7km (林道走行距離 (片道))

ケ 捕獲個体の処理

捕獲個体の処理は、林内で処分する場合は所定の場所縦3m×横3m×深さ1.5m程度の埋設穴を1箇所掘削し埋設すること。埋設箇所は委託者と協議のうえ決定する。埋設に当たっては、埋設場所に他の鳥獣が出没するため、埋設場所に掘り返し防止対策を受託者で施すこと。

コ 腕章の着用等

従事者証を携行するとともに、所定の腕章を装着し実施すること。

サ 猟具への標識設置

捕獲に使用する猟具に標識 (住所及び氏名又は名称その他環境省令で定める事項) を装着し、捕獲作業を行うこと。

シ 捕獲に係る整備

林道等の除雪作業など捕獲に係る整備は委託者と協議して行うこと。

ス 通勤補正

なし

(3) 誘引、捕獲作業の記録様式等

共通仕様書 2.4.2(1)～(5)について様式仕 1～3 を使用すること。共通仕様書 2.10(3) 錯誤捕獲の報告は、別添 2「錯誤捕獲対応記録票」を使用すること。

(4) 生息状況把握調査

事業実施箇所の動植物の生息種、シカの行動状況・生息数等を把握する。調査方法は、カメラトラップ法により、足くくりわな設置箇所に自動撮影カメラ 40 台を用いて調査を行うこと。なお、自動撮影カメラ 40 台及び自動撮影カメラ用 SD カード 80 枚については下記イのとおり委託者が貸与する。

撮影画像について、撮影されたシカの頭数、性別、成熟度、撮影日、時間等を整理することとし、シカ以外の野生哺乳類についても可能な限り同定すること。また、シカの撮影状況については、別紙様式仕 4「ニホンジカ等撮影状況一覧表」に取りまとめ、事業終了時に提出すること。

ア 調査方法

(ア) 設置場所

自動撮影カメラの設置に際しては、ニホンジカの生態に精通した者の指導のもと行う。設置位置についてはハンディーGPSを用いて緯度・経度、撮影方向等を記録すること。調査は本事業地全体 (1,239.10ha) に 40 箇所、自動撮影

カメラを設置して、シカの生息状況を調査すること。自動撮影カメラは、1箇所につき1台使用する。

(イ) 設置期間

自動撮影カメラの設置期間は、契約締結の日の翌日から令和8年1月20日までとし、毎月1度以上撮影データの回収、解析を行い、毎月10日までに監督職員に報告すること。報告にあたっては、地図・表等にとりまとめ考察する。自動撮影カメラの設置期間終了後、自動撮影カメラを回収すること。

イ 貸与する自動撮影カメラの仕様等

センサーカメラ等の調査物品は、別添1「調達及び貸与物品一覧表（生息状況把握調査）」に示すとおりとし、その他必要となる物品については受託者が委託経費内で調達すること。なお、貸与物品等は事業終了後返却すること。

(5) 報告書の作成

上記(1)の事業計画書、(2)～(3)の捕獲に係る一連の作業の実施結果、記録・写真及び実施箇所の状況、(4)の調査分析・考察等について報告書を作成すること。

5 成果の報告

(1) 報告書の提出期限及び提出場所

報告書の名称は、「賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）報告書」とする。受託者は、上記4(5)のとおり報告書を取りまとめ、以下のとおり提出するものとする。

ア 提出物

紙媒体：報告書2部（A4サイズ、カラー）

電子媒体：報告書等の電子データを収納した電子媒体（CD-R または DVD-R）
2部

イ 提出期限

令和8年1月30日（ただし、令和8年1月20日までに結果の概要ととりまとめの方向性について、監督職員に報告し打合せを行うこと。）

ウ 提出場所

伊豆森林管理署（静岡県伊豆市牧之郷 546-5）

エ 成果物に関する留意事項

成果物の作成に当たっては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）第6条第1項に基づき定められた「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に適合した製品を使用すること。

(2) 電子データの仕様

ア Microsoft 社 Windows 10 以上で表示可能なものとする。

イ 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。

（ア）文書：ワープロソフト（Microsoft 社 Word2010 以降）

（イ）表計算：表計算ソフト（Microsoft 社 Excel2010 以降）

（ウ）画像：JPEG 形式

6 その他

(1) 委託事業における人件費の算定等の適正化について

受託者は、共通仕様書に添付の「委託事業における人件費の算定等の適正化について」に基づき、委託事業に係る人件費を算出するとともに、人件費明細書（別紙様式 12）を作成し、直接作業時間を確認することができる書類（別紙様式 13）などを整備しなければならない。なお、人件費明細書及び直接作業時間を確認することができる書類については、検査の際に提示しなければならない。

(2) 支払対象

本事業では、捕獲目標頭数を定めるものの捕獲実績による支給ではなく、捕獲事業に要した費用について支給する。ただし、正当な理由なくして事業を行わなかった日については、減額の対象とし、その日数に応じて双方協議の上、決定するものとする。

なお、林外の焼却施設及び加工施設への運搬費用並びに焼却処分費用については、支給対象外とする。

(3) 他の事業との関連

捕獲及び処分については、他事業との重複はできない。（本事業で捕獲したニホンジカを用いて国、県等が交付する捕獲交付金等を受領してはならない。）

(4) CSF（豚コレラ）対策（感染拡大防止）について

CSF（豚コレラ）の感染拡大防止のため、静岡県における CSF 対策を熟知して適切な対策に努めること。

【別添1】

調達及び貸与物品一覧表

(生息状況把握調査)

[illegible]

注1) 上記に掲げる物品は、事業完了後速やかに委託者に返納すること。

注2) 調達品に掲げる品名は例示品であり、当該製品と同等以上の性能を有する他社製品も認めるも事前に監督職員の許可を得ること。

別添 2

賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）

錯誤捕獲対応記録票

作成者：

発見日時： 年 月 日 () 時 分			天候：
錯誤捕獲鳥獣：		錯誤捕獲数： 頭 (オス 頭、メス 頭)	
発見者：		連絡調整者：	
発見場所：			
対応方法：			
対応結果：			
処理費用：		円	
課題及び問題等			

「賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）」

誘引作業日報

実施日	令和	年	月	日	()	天 候	記入者
誘引方法						従事者数	名
誘引資材						1箇所当たりの資材量	
従事者名							

誘引状況

捕獲場所	誘引状況		付近の状況	備考
	前回設置分	今回設置分		
	1. (ほぼ) 全て無くなっていた 2. 半分程度無くなっていた 3. (ほぼ) 全て残っていた	1. 設置した 2. 設置しなかった	1. シカがいた 2. 痕跡あり（足跡、糞等） 3. 痕跡なし	
	1. (ほぼ) 全て無くなっていた 2. 半分程度無くなっていた 3. (ほぼ) 全て残っていた	1. 設置した 2. 設置しなかった	1. シカがいた 2. 痕跡あり（足跡、糞等） 3. 痕跡なし	
	1. (ほぼ) 全て無くなっていた 2. 半分程度無くなっていた 3. (ほぼ) 全て残っていた	1. 設置した 2. 設置しなかった	1. シカがいた 2. 痕跡あり（足跡、糞等） 3. 痕跡なし	

所見（実施おける課題等）

「賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）」
捕獲作業日報

実 施 日	令和	年	月	日	()	天 候	記 入 者	
捕獲方法				捕獲頭数		頭	従事者数	名
従事者名（役割についても明記する）								

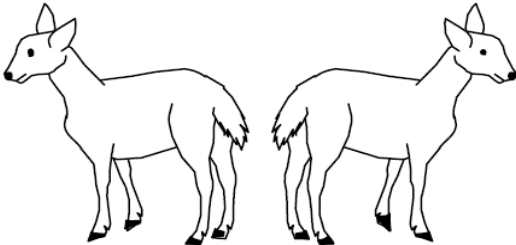
捕獲内容

捕獲場所	捕獲頭数		メッシュ番号	埋設場所	備 考
	オ ス	メ ス			

所見（実施おける課題等）

「賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）」

捕獲個体記録票

捕獲年月日	令和 年 月 日 ()	
記入者氏名		
獣種名	シカ・イノシシ・クマ・ニホンカモシカ・その他 ()	
捕獲方法	くくりわな・銃・囲いわな・はこわな・その他 ()	
捕獲場所	() 市・町・村 () () 国有林 () 林班 () 小班	
メッシュ番号		
性 別	オス ・ メス	
オスの場合	角の状態 (無し)    	
メスの場合	妊娠の有無	あり ・ なし ・ 不明
	胎児の性別	オス ・ メス ・ 不明
	乳汁の分泌	あり ・ なし ・ 不明
成獣・幼獣別	成獣 ・ 幼獣	
体 重	kg (実測 ・ 全重量)	
切歯・犬歯	全て永久歯 ・ 全て乳歯 ・ 永久歯 本 ・ 乳歯 本	
着弾位置		
処置概況	埋設 ・ 焼却 ・ 食肉加工 ・ その他 ()	
備 考		

ニホンジカ等撮影状況一覧

事業名：令和〇年度〇〇地区有害鳥獣捕獲委託事業

[illegible]

賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6 明許）
特記仕様書 2
（瞬間サンプリング法調査）

1 調査の目的

本調査は、ニホンジカ被害対策及び捕獲効果の検討のため、局所的なニホンジカの個体数を推計することを目的とする。

2 調査の概要

(1)発注者が指定した箇所にセンサーカメラを設置し、5分毎のタイムラプスにより撮影を行う。

(2)AddaxAI によりニホンジカ等の動物が写っている画像を抽出した上で、目視により獣種を判定し、Excel に整理する。

3 調査対象獣種

ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ等の撮影された獣種

4 設置台数

計 12 台

5 設置林小班

静岡県賀茂郡河津町 片瀬国有林 7 1 8 林班外

（別添 1 「瞬間サンプリング法調査予定設置箇所位置図（以下「位置図」という。）のとおりに

6 撮影期間

令和 7 年 10 月 1 日(水)から令和 7 年 10 月 31 日(金)までの 4 週間とし、撮影期間の前日までに設置を行い、回収は撮影期間後に行う。

7 貸与物品

センサーカメラ等の調査物品は、別添 2 「調達及び貸与物品一覧表」に示すとおりとし、その他必要となる物品については 受託者が委託経費内で調達すること。

8 調査方法

詳細な調査方法は「関東森林管理局版 瞬間サンプリング法調査マニュアル」のとおりにとする。マニュアルは、以下に示す関東森林管理局のホームページをご参照ください。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/policy/business/hogozigyoku/naragare.html>)

(1) 設置箇所の条件

センサーカメラの設置箇所は以下の条件を満たすこと。なお、撮影開始前に監督職員の了解を必ず得なければならない。

- ア 見通しのよい箇所
- イ 立木が密集して動物が写らない個所ではないこと。
- ウ 川、谷、崖ではないこと。
- エ 設置箇所の条件に満たない地点がある場合は、位置図の予備地点と予め指定した地点とを変更すること。
- オ これによらない場合は、監督職員の指示を受けること。

(2) センサーカメラの設置

- ア センサーカメラと SD カードに位置図に記載された地点名をあらかじめ表示すること。
- イ センサーカメラは地上から原則 1 m の高さに設置すること。
- ウ センサーカメラは地表面に対して水平に設置する。斜面の場合は等高線に平行に設置すること。
- エ センサーカメラに直射日光や木漏れ日が当たらないよう概ね北向きに設置すること。
- オ センサーカメラが動かないよう杭や木の幹等にしっかりと固定する。また、センサーカメラと木等の間に細い棒等を挟んで固定し、電池交換の際に有効撮影区域がずれないようにすること。
- カ センサーカメラを設置した立木の上部及び区域外の立木にテープを巻き明示すること。
- キ 必要に応じ、撮影の障害となる草などを除去すること。

(3) 有効撮影面積、緯度経度、高さの測定

- ア センサーカメラの設置個所を頂点とし、ここを起点とした角度(およそ 40° から 50°)の両側 2 辺 10 m を測定した上で、頂点の対辺の長さを測定し、別添 3「カメラ情報野帳」に記録すること。この測量した範囲を有効撮影面積とする。
- イ センサーカメラ設置箇所の緯度経度を測り、カメラ情報野帳に記録すること。緯度経度は、60 進法(度分秒)ではなく度の 10 進法で記載すること。
- ウ センサーカメラの設置高(上記の通り原則は 1m)を測り、カメラ情報野帳に記録すること。

(4) センサーカメラの設定

- ア タイムラプス 5 分間隔で撮影(検知モードでは撮影しない)
- イ 静止画(解像度 5 MP)
- ウ 夜間撮影は赤外線フラッシュ
- エ 連続撮影、センサー感度は設定しない。
- オ センサーカメラの機種によって上記の設定ができない場合は、最も近い設定とすることとし、その旨監督職員に報告すること。
- カ ア～エの設定後、センサーカメラが正しく作動することを、別添 4「チェックシート

(設置用)」により記録した上で、撮影を開始しなければならない。

(5) 見回り

- ア 調査期間中は、適切に見回りを行い、電池及び SD カードの残容量が十分あることを確認すること。
- イ 電池及び SD カードを交換する際、センサーカメラが動かないよう注意するとともに、交換後、撮影範囲がずれていないかをセンサーカメラの画面により確認すること。
- ウ 撮影開始から 1 週間後は必ず SD カードを交換し、パソコンに取り込んで画像を確認して適切に撮影されていることを確認すること。
- エ 電源が切れていた場合は、時刻及びその他の設定を確認すること。
- オ アからエについて別添 4-1「チェックシート（見回り用）」に記録しておくこと。

(6) 回収

撮影が終了したら、撮影期間終了日から 2 週間以内にセンサーカメラを撤去すること。
なお、設定の誤りが判明する可能性もあるため、SD カードを入れたまま、センサーカメラを撤去すること。

(7) AI 解析

- ア AddaxAI によりニホンジカ等の動物が写っている画像を抽出すること。
- イ AI 解析で抽出された画像を目視で確認し、AI 解析結果に、別添 5「AI 解析結果の入力項目」を追記し、獣種については、別添 6「獣種リスト」に基づき、有効撮影範囲内外で撮影された獣種を入力する。
- ウ AI 解析結果のファイル名は、「results_地点名.xlsx」とする。ファイル名は地点名を含め半角英数字とする。

(8) 成果物の提出

センサーカメラ回収後 1 カ月以内に、以下について、紙媒体及び SD カードを監督職員へ提出すること。

- ア 設置箇所位置図
- イ カメラ情報野帳及びカメラ情報野帳を記録した Excel（別添 3）
- ウ チェックシート（別添 4）
- エ すべての撮影画像
- オ (7)アで抽出された画像
- カ (7)ウの AI 解析結果

なお、電子ファイル等は、ウィルスチェックを行った上で提出すること。

9 その他

- (1) 受注者は、事業の進行状況を定期的に報告するほか、監督職員の求めに応じて報告するものとする。
- (2) 事業目的を達成するために、監督職員は、進行状況に関して必要な指示を行えるものと

し、受注者はこれに従うものとする。

(3)受注者は、事業により知り得た情報について、外部に漏らしてはならない。

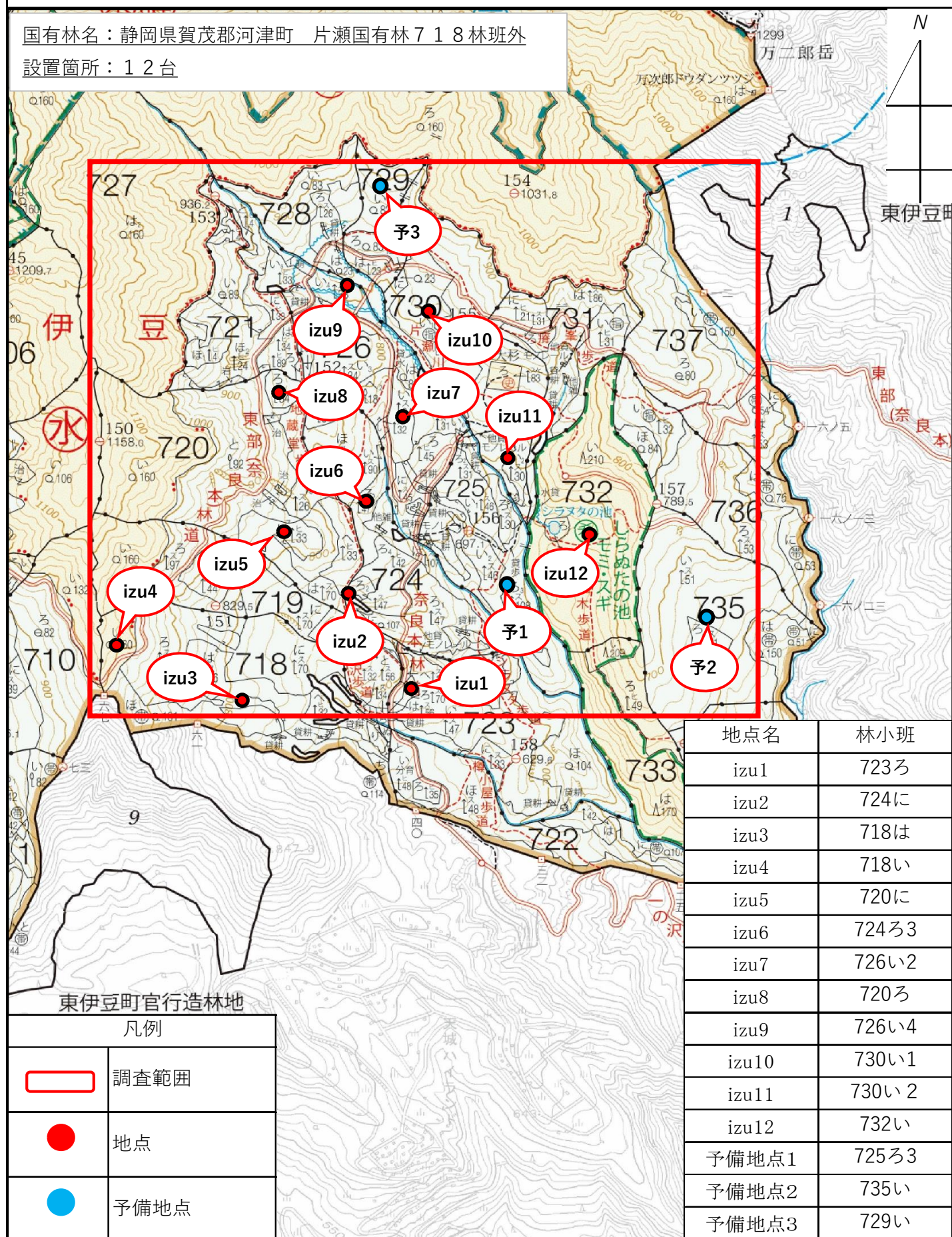
(4)事業の目的を達成するために、本仕様書に明示されていない事項で必要な作業が生じたときは、受注者は監督職員と協議を行うものとする。

賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）

瞬間サンプリング法調査予定設置箇所位置図

国有林名：静岡県賀茂郡河津町 片瀬国有林 7 1 8 林班外

設置箇所：12台



【別添 2】

調達及び貸与物品一覧表

(瞬間サンプリング法調査)

[illegible]

注1) 上記に掲げる物品は、事業完了後速やかに委託者に返納すること。

注2) 調達品に掲げる品名は例示品であり、当該製品と同等以上の性能を有する他社製品も認めるも事前に監督職員の許可を得ること。

【別添 3】

署 所 名 :

調査年月日 : 令和 年 月 日

国有林名 :

調 査 員 :

カメラ情報野帳

林小班名 ※数字半角	林相	地点名(id) (=ファイル名) ※半角英数	緯度 (Lat) (東西) ※10進法	経度 (Lon) (南北) ※10進法	設置高 (Hight) (地上からの高さ 約1m)	有効撮影面積の計測				地点の 特徴	設置時間 (分)
			機種が表示が60進法 (〇°〇′			1辺 (10m)	2辺 (10m)	3辺 (〇m)	面積 (㎡) ヘロンの公式 小数点第3位四捨五入 少数点2位止め		
記載例 123い	スギ	iwa1	36. 5770	139. 109	100	10.0	10. 0	7. 9	36. 29	間伐後、コナラ近く	

別添 4

「賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）」

チェックシート（瞬間サンプリング法調査）【設置用／1－2】

点検日：令和 年 月 日

[illegible]

別添 4

「賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）」

チェックシート（瞬間サンプリング法調査）【設置用／2-2】

点検日：令和 年 月 日

[illegible]

「賀茂東地区ニホンジカ生息状況調査及び誘引捕獲委託事業（R6明許）」

チェックシート（瞬間サンプリング法調査）【見回り用】

点検日：令和 年 月 日

[illegible]

別添5

AI解析結果の入力項目

absolute_path	relative_path	data_type	label	有効撮影面積外	獣種	不明	オス	メス	confidence	man_verification	bbox_left	bbox_top	bbox_right	bbox_bottom	tile_height	file_width	DateTimeOriginal	DateTime	DateTimeDigitized	Latitude	Longitude	GPSTime	Altitude	Make	Model	Flash	ExifOffset	Resolution	Orientation	Resolution	Resolution	Version	Camera	Confidence	Pixel	Version	ColorSpace	ImageWidth	SpeedRatio	ImageHeight	posureMode	WhiteBalance	Capture	posureTime	Software	harpness	Saturation	ance	BlackWhite
(記載例)																																																	
C:/kamera1/g2	IMAG5877.JPG	img	animal	外	シカ	1			0.891	FALSE	3395	2250	4024	2863	3024	4032	2024-12-10 20:18:46	2024-12-10 20:18:46	2024-12-10 20:18:46					BolyMedi	SG560K	-24	278	2	2	180.0	180.0	b'0220'	b'Yx01Yx	b'0100'	1		4032	1000	3024	0	0	0	0.008064	V3.47.22	0				
C:/kamera1/g2	IMAG5952.JPG	img	animal		テン	1			0.842	FALSE	3244	1604	3732	1834	3024	4032	2024-12-11 02:31:07	2024-12-11 02:31:07	2024-12-11 02:31:07					BolyMedi	SG560K	-24	278	2	2	180.0	180.0	b'0220'	b'Yx01Yx	b'0100'	1		4032	1000	3024	0	0	0	0.008064	V3.47.22	0				
C:/kamera1/g2	IMAG6577.JPG	img	animal	外	不明	0			0.351	FALSE	2400	1073	2685	1359	3024	4032	2024-12-13 06:31:18	2024-12-13 06:31:18	2024-12-13 06:31:18					BolyMedi	SG560K	-24	278	2	2	180.0	180.0	b'0220'	b'Yx01Yx	b'0100'	1		4032	1000	3024	0	0	0	0.008064	V3.47.22	0				

○ AI 解析後、列を追加し、
獣種、シカの雄雌、有効撮影範囲外について、
目視により入力します。

○ 動物が写っていない場合は空欄。

注意事項

注意:1回の撮影で同じlabel(獣種)が複数撮影されていた場合、撮影頭数を「不明」、「オス」、

「メス」列の該当箇所に記入することで、1行のデータにします。

AddaxAIの出力では、個体ごとに行が分かれています。

例:AddaxAIの出力で以下のようにになっているデータ(1回の撮影画像に2個体を検出した)は、

C:/kamera1/g2	IMAG0001.JPG	img	animal		ニホンジカ	1			0.87	FALSE	0	1002	298	2151	3024	4032	2024-11-20 13:47:09	2024-11-20 13:47:09	2024-11-20 13:47:09					BolyMedi	SG560K	-24	278	2	2	180.0	180.0	b'0220'	b'Yx01Yx	b'0100'	1		4032	484	3024	0	0	0	0.006666	V3.47.22	0				
C:/kamera1/g2	IMAG0001.JPG	img	animal		ニホンジカ			1	0.947	FALSE	1757	488	2390	1916	3024	4032	2024-11-20 13:47:09	2024-11-20 13:47:09	2024-11-20 13:47:09					BolyMedi	SG560K	-24	278	2	2	180.0	180.0	b'0220'	b'Yx01Yx	b'0100'	1		4032	484	3024	0	0	0	0.006666	V3.47.22	0				

以下のようにして、1行にします(重要なのは撮影日時と獣種、頭数なので、他の列は気にしない)。

C:/kamera1/g2	IMAG0001.JPG	img	animal		ニホンジカ	1		1	0.87	FALSE	0	1002	298	2151	3024	4032	2024-11-20 13:47:09	2024-11-20 13:47:09	2024-11-20 13:47:09					BolyMedi	SG560K	-24	278	2	2	180.0	180.0	b'0220'	b'Yx01Yx	b'0100'	1		4032	484	3024	0	0	0	0.006666	V3.47.22	0				
---------------	--------------	-----	--------	--	-------	---	--	---	------	-------	---	------	-----	------	------	------	---------------------	---------------------	---------------------	--	--	--	--	----------	--------	-----	-----	---	---	-------	-------	---------	----------	---------	---	--	------	-----	------	---	---	---	----------	----------	---	--	--	--	--

別添6

獣種リスト (species) _関東森林管理局版

- ニホンジカ
- ツキノワグマ
- イノシシ
- ニホンカモシカ
- ノウサギ
- タヌキ
- アナグマ
- アライグマ
- テン
- イタチ
- ニホンザル
- キョン
- オコジョ
- ハクビシン
- ネズミ類
- 不明
- 哺乳類
- 鳥類
- 昆虫類
- 人間